

## 医療・介護ワーキング・グループの進捗について

令和 2 年 2 月 12 日

医療・介護ワーキング・グループ

## 1. 開催状況

第 2 回 1 2 月 1 2 日 (木) 9:30 ~ 11:00

## 【議題】

医療等分野におけるデータ利活用の促進 (フォローアップ) (厚生労働省からヒアリング)

(概要) NDB、介護DBなどのビッグデータを民間企業が円滑に入手できるような基準・手続の検討状況について、厚生労働省からヒアリングを実施。引き続き確認を行う。

第 3 回 1 2 月 1 8 日 (水) 17:00 ~ 19:00

## 【議題】

保険外医薬品(スイッチOTC等)選択肢の拡大(印南専門委員からヒアリング)

(概要) 国民皆保険を維持しつつ、国民の医療に関する選択肢を拡大するとの視点から、公的医療保険の給付範囲の見直し等の提案について、印南専門委員からヒアリングを実施。

オンライン医療の普及促進 (フォローアップ) (厚生労働省からヒアリング)

(概要) オンライン診療に係る診療報酬上の評価の検討状況及びオンライン服薬指導の実現に向けた取組について確認。引き続き電子処方箋実務の完全電子化に向けた対応を含め、確認を行う。

社会保険診療報酬支払基金に関する見直し (フォローアップ) (厚生労働省からヒアリング)

(概要) 新コンピュータシステムの導入、審査の一元化等の進捗状況を確認。引き続きレセプト事務点検業務の実施場所の集約化に向けた対応を含め、確認を行う。

第4回 1月21日(火) 15:00~16:40

【議題】

介護現場でのA I・I C T・ロボットの活用の可能性と課題(社会福祉法人善光会、厚生労働省からヒアリング)

(概要) A I・I C T・ロボットの活用推進に向けた取組や生産性向上の状況、介護アウトカム評価を進める上でのデータ標準化、データベース構築等の課題について、社会福祉法人善光会、厚生労働省からヒアリングを実施。引き続き検討を行う予定。

介護事業者の事務負担の軽減などによる効率化(厚生労働省からヒアリング)

(概要) 介護事業者の事務負担を軽減するため、ローカルルールへの対応を含めた各種手続の簡素化・標準化・デジタル化に向けた取組状況について、厚生労働省からヒアリングを実施。

第5回 1月27日(月) 15:00~17:30

【議題】

看護師の専門性の更なる発揮に向けた取組(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長/全日本病院協会副会長 神野正博氏、厚生労働省からヒアリング)

(概要) 特定行為に係る看護師の研修制度について、神野氏から特定看護師の活用状況及び制度普及に向けた意見を聴取するとともに、厚生労働省から現状制度についてヒアリングを実施。

救急救命士の活用(医療法人社団直和会平成立石病院理事長/全日本病院協会常任理事 猪口正孝氏、厚生労働省からヒアリング)

(概要) 救急救命士の病院等での活用について、猪口氏から救急救命士の活動場所の拡大に係る要望を聴取するとともに、厚生労働省から現状制度等についてヒアリングを実施。

救急医療が真に必要な患者に提供される仕組み(聖マリアンナ医科大学救急救命センター長/救急医学講座教授藤谷茂樹氏及び同救急救命センター医長/救急医学講座助教遠藤拓郎氏からヒアリング)

(概要) 救急医療現場の負担軽減について、藤谷氏及び遠藤氏から多職種チームによる救急・集中治療の実践、英国制度を参考とした救急搬送の在り方につ

いてヒアリングを実施。

## 2．今後の主な議題

医療・介護関係職のタスクシフト

介護サービスの生産性向上

保険外医薬品（スイッチOTC等）選択肢の拡大

医療等分野におけるデータ利活用の促進（フォローアップ）

オンライン医療の普及促進（フォローアップ）

社会保険診療報酬支払基金に関する見直し（フォローアップ）